

## 役員会社紹介

# 株式会社 一幸堂



恩田 学 社長

港南区工業会の皆様こんにちわ。私は株式会社一幸堂の代表取締役、恩田学と申します。父であり創業者である恩田幸一現会長から社長職を引き継いで4年が経ちます。

私達一幸堂の主な業務は、文具事務用品の販売、教科書教材の販売、大型コピーや名刺作成などの加工サービスなどとなりますが、柱の一つである文具事務用品の販売は、只今業界全体が大きな曲がり角に差し掛かっています。すでにご利用の方もいらっしゃると思いますが、各種通信販売がそのシェアを伸ばして市井の販売店を圧迫、さらに後継者不足も重なり、販売店の数は一時期の三分の二程度まで減少しています。学校のそばには必ず文房具屋があった、という光景は過去のものになりつつあります。

そんな状況の中、私達一幸堂は今年1月、港南台6丁目に新店舗をオープンいたしました。経営者としては、外商に特化したほうがより収益が上がるのではないか、という判断もあったのですが、あえて小売店舗を新しく構えました。

私が物心ついた頃、一幸堂は南高校前に自宅兼小売店兼外商事務所を構え営業していました。幼い私は店の中で、色々なお客様が来店され、父や母と言葉を交わし、ありがとうございます、言って帰っていかれる様子を見て育ちました。商品を

通じて、色々な人と出会い、言葉を交わし、喜んでもらい、こちらも喜びたい。私は仕事に対する基本姿勢はこの頃の父と母を見て形成されたものかもしれません。

ですから、一幸堂はあえて店舗を構えました。店には1日200人ほどのお客様がご来店されます。お仕事で大型コピーを撮りに見えた方、お子様にせがまれ可愛いノートを買っていかれるお母さん、サークルのイベントの為に色紙を買っていかれるグループなど毎日いろいろな方との出会いがあります。この出会いそのものが一幸堂の財産です。また、外商においても基本姿勢は変わりません。一幸堂は通販のカatalogをばら撒くような営業はいたしません。もちろん弊社でも通信販売をお客様にお勧めする場合がございますが、通販はあくまでツールとして活用するに留め、お客様との信頼関係を築く事の出来る営業活動を心がけていきます。

もちろん業界全体が厳しい中、一幸堂も決して安閑としてはられません。経営者として、会社の活動の中にある無駄を省き、合理化を進め収益を確保しなくてはなりません。しかし、決して合

理化＝無味乾燥なCatalog販売とならぬよう経営をしていきたいと思っています。そして一幸堂を通じて、地域の皆様や業界の活性化に寄与できればと思います。



▲社屋全景



▲店内